

日本學術會議會員選舉全國區候補者

瀬藤 象二

兼重 寛九郎

山縣 昌夫

安藝 皎一

小川 芳樹

東大第二工學部長
東大生産技術研究所長

東大教授・工學博士
東大評議員

東大教授・工學博士

東大教授・工學博士

東大教授・工學博士

(電氣)

(機械)

(船舶)

(土木)

(金屬)

生研ニュース

谷 安正教授渡佛

本研究部 谷 安正教授は去る9月14日から24日にわたり、パリで開かれた国際電子顕微鏡會議に、日本電子顕微鏡學會代表として出席のため、ヨーロッパにおける新界の現状觀察を兼ね9月7日空路渡佛された。

部 外 活 動

一 講 演

- ◆講師 藤森 榮二「有機感光性物質の研究」日本化学會年會 京都大學において (1950・4・3)
- ◆講師 藤森 榮二「光エネルギーの分子間および分子内轉移について」生環研究會 千葉大學において (1950・7・8)
- ◆教授 星 莖 和「土質工學の現況」土質工學研究會において (東京) (1950・8・24)
- ◆教授 星 莖 和「建造物の基礎地盤」同上 (1950・8・25)
- ◆教授 糸川 英夫、志賀 健雄、吉山 巖、藤森 榮二「直記式オシログラフの試作について」應用物理學會、電氣學會、音響學會、應用力學會連合講演會 (1950・9・2)
- ◆教授 糸川 英夫、志賀 健雄、大上一朗「スピーカ、ペーパーコンの振動について」同上連合會 (同上)
- ◆教授 糸川 英夫、熊谷 千尋「ヴァイオリンの製作に関する研究」同上連合會 (同上)
- ◆助教授 耳 理 厚「トラペラーの運動」纖維機械學會講演會 (1950・9・30)
- ◆助教授 加藤 正夫「ダイカスト用亜鉛合金」機械學會主催講演會 (1950・10・2)
- ◆助教授 竹中 規雄「研削面上面の粗さと耐摩耗性」機械學會第510回講演會 (1950・10・20)
- ◆助教授 鈴木 弘、吉川 英夫「引拔變形過程に関する考察」機械學會第511回講演會 (1950・10・22)
- ◆助教授 千々岩 健兒「鑄造における湯の流れについて」鑄造學會臨時大

會講演會 (1950・10・24)

◆教授 宮津 純「流體抽出の液體力學とその應用 (第3報)、流體層の壓力變化について」、同 (第4報)、配管から曲つて放射する流水の壓力」機械學會臨時大會講演會 (1950・10・25)

◆助教授 竹中 規雄「切削温度に関する研究」機械學會臨時大會講演會 (1950・10・26)

◆助教授 石原 智男「流體變速機について」機械學會第513回講演會 (1950・11・8)

一 寄 稿

◆助教授 丸安 隆和「地上寫真測量とその土木工學への應用 (第1報)——内部定位の常數の決定について——」土木學會誌 第35卷 第5號 204~210頁 (1950・5)

◆教授 安藝 皎一「國土開發の基本問題」同上 第35卷 第7號 233~297頁 (1950・7)

◆助教授 丸安 隆和「地上寫真測量とその土木工學への應用 (第2報)——地上寫真測量の一般作業方法について——」同上 第35卷 第8號 347~353頁 (1950・9)

◆講師 藤森 榮二「有機化合物の勵起エネルギー移動」化學の領域 第4卷 第9號 (1950・9)

◆助教授 齋藤 成文「高周波誘電加熱用電極としてのツレノイドコイル」電氣學會誌 70卷 741號

◆助教授 末岡 清市「On the Stark Effect of Helium in Strong Electric Field (I)」J. Phys. Soc. Jap. Vol. 5, No. 4

◆講師 藤森 榮二「螢光反應に関する研究 (第2報)——フルオレッセインの螢光反應——」日本化学會誌 第71卷 第9號 (1950)

一 著 書

◆教授 增野 實「大豆とその利用」B5, 199頁 圖版52, 250圖 産業評論社 (1950・8・15)

一 現地調査

◆教授 沼田 政矩「深良用水トンネルの豫備調査」箱根深良用水において (1950・8・10~11)

◆教授 沼田 政矩「同上 本調査」同所において (1950・9・14~16)

◆教授 沼田 政矩 教授 岡本 舜三「國鐵信濃川發電所トンネル工事落盤調査」新瀨野北魚沼郡小千谷町地内 (1950・9・10~12)

編 集 後 記

◆1950年最終號は輸送特集として貨物輸送に重點をおき、特集に徹底して編集した。できるだけ廣く取材しようとしたが、鐵道・海上輸送に殆どふれ得なかつたのは残念で、またの機會に御期待願うほかない。

◆グラビヤ劈頭は「鉄鋼一貫作業」とはおよそかけはなれた感覺を興える溶銑の輸送で、そのロスは「鋼つき」として年間6000tに及ぶとか。

◆特集では新地下鐵(池袋〜神田線)お茶の水驛乗入れ設計のための興味あるデータを提供して頂いた。自動車輸送増強については道路とトラックの両面から検討できるような文を併載できたので参考になると思う

◆輸送には動と靜の両面がある。とかく靜的な面は忘れ勝だが、包裝の問題だけとり上げ専門家に御執筆を願つた。

◆最後にグラビヤ寫真その他について多大の便宜と協力を頂いた日本鋼管川崎製鐵所製銑部、八幡製鐵所、日立製作所龜有工場等の各位に對し厚く謝意を表する。

◆ときに大學にはレッドパーヅ旋風がすさま、工業界は朝鮮ブームで一息を入れたところ。1950年を顧みて本誌の發展のため讀者各位に再び切望したい工業技術向上の使命を擔つて生れた本誌がよりよく理解され、愛讀され、活用されんことを。

(1950・10・25・M. E)

編 集 委 員

- 編集委員長 星 合 正 治
- 編集委員 *三木 五三郎 宮津 純
元良 誠三 齋藤 成文
丹 羽 登 星野 昌一
濱 口 隆一 淺原 照三
松 下 幸雄 小川 正義
*江 口 雅彦 森 大吉郎
小 瀬 輝次 藤森 榮二
- 編集幹事 下村 潤 二郎
- 編集室 水野 晴 明
- (* 印は當番委員)

★ 表 紙 説 明 ★

スパン 43m のトランスポーターブリッジ上を動く水平引込クレーンのブームと運轉室を仰ぎ見たもの、バケツ容量 2.5t、作業半徑 24m である。

第2巻第12號 生産研究 定價 70圓 (郵税 3圓)

1950年11月25日印刷

1950年12月1日發行

編集者 星 合 正 治
東大生産技術研究所
千葉市千葉局内彌生町
電話 千葉 366-370

發行者 小 川 誠 一 郎

印刷者 井 關 好 彦

印刷所 大同印刷株式會社
東京都千代田區神田錦町 3-1

發行所 株式會社 誠文堂新光社
東京都千代田區神田錦町 1-5
電話 神田 (25) 2126-2130
振替 東京 6294・6567